

## 世界 LNG 動向#103 2024 年 7 月

橋本裕\*

### はじめに

世界の LNG 市場では、2024 年上半期、2.02 億トンの LNG が取引された。2023 年同期比微増に留まったが、半年間として過去最高となった。数量面で大西洋から太平洋地域へのシフトが顕著であり、アジア太平洋地域（中東を除く）のシェアが前年同期の 62%から、2024 年上半期は 68%に増加した。

欧州連合・英国は 2024 年上半期 4800 万トンの LNG を輸入したが、2023 年上半期の 5900 万トンを大きく下回った。日本は 3241 万トンを輸入し、前年同期比微減だった。中国は 3800 万トンを輸入したが、前年同期は 3338 万トン、2021 年同期は 3958 万トンだった。パイプラインガス・LNG 合計では、2024 年 1 - 6 月累計輸入量は 6465 万トンと、前年同期比 14.3%増で史上最高となった。中国は同年 1 - 6 月 1236 億 m<sup>3</sup>、前年同期比 6.0%増の天然ガスを生産した。消費量では、1 - 6 月期間は前年同期比 10.1%増の 2137.5 億 m<sup>3</sup> の天然ガスとこれもまた史上最高となった。

スポット LNG、ガス価格は、2024 年上半期末時点で、同上半期初時点とほぼ同じ価格帯にあり、アジアスポット LNG は 100 万 Btu 当たり 11.5 - 13 米ドル帯、欧州大陸スポットガス価格は同 10.5 米ドル相当、いずれも同年第 1 四半期末近辺では 2 米ドル程度下がった。

LNG 生産プロジェクトの再編が世界各地で続いている。6 月上旬に FID (最終投資決定) を発表したアブダビ Ruwais LNG プロジェクトには、7 月、国際パートナー 4 社が各 10%出資参加することを発表した。豪 Woodside Energy 社は、米 Tellurian 社およびその Driftwood LNG プロジェクトを買収することに合意した。

米国では 7 月初め、ルイジアナ州の連邦裁判事が、非自由貿易協定諸国 (非 FTA 諸国) 向け LNG 輸出承認についての DOE (連邦エネルギー省) による一時停止を終焉させる即日適用の仮差し止め命令を行った。影響が注目される。

---

\* 資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット

## [アジア太平洋]

中国の国家能源局 (NEA) は、2024 年 7 月 23 日、2024 年の天然ガス市場報告「中国天然ガス展覧会報告 2024」を公表した。これによると、2024 年、同国の天然ガス消費は 6.5% - 7.7%増加して最大 425 bcm (4250 億 m<sup>3</sup>) に達する。天然ガス生産は 10 bcm 増の 246 bcm と見込まれる。2023 年同国は天然ガス 394.5 bcm を消費、前年比 7.6%増となった。天然ガスは一次エネルギー消費の 8.5%を占めた。

NBS (中国人民共和国国家統計局) 2024 年 7 月 15 日付によると、中国は同年 6 月、202 億 m<sup>3</sup>、前年同月比 9.6%増、同 1-6 月 1236 億 m<sup>3</sup>、前年同期比 6.0%増の天然ガスを生産した。NDRC (国家发展和改革委员会) 2024 年 7 月 24 日付によると、中国は同年 6 月、前年同月比 6.9%増の 344 億 m<sup>3</sup>、1 - 6 月期間は前年同期比 10.1%増の 2137.5 億 m<sup>3</sup> の天然ガスを消費した。

中国の 2024 年 6 月の LNG 輸入量は 562 万トン、前年同月比 4.6%減、1 - 6 月累計は 3800 万トンと前年同期比 13.9%増加となった。2021 年 1-6 月累計を 4%下回った。パイプラインガス・LNG 合計では、2024 年 1-6 月累計輸入量は 6465 万トンと、前年同期比 14.3%増で史上最高となった。

中国 深圳能源集団股份有限公司 (Shenzhen Energy Group) は、2024 年 7 月 8 日、コモディティトレーダー Glencore 社と、長期 LNG SPA (売買契約) を同 2 日に締結したことを発表した。

中国 CNOOC Limited (中国海洋石油有限公司) は、2024 年 7 月 15 日、渤海沖の探査活動で前進があったことを発表した。Longkou 7-1 油・ガス田 (□□ 7-1 油气田) は、渤海東部平均水深 26 m の海域に位置している。探査井 LK7-1-1 は深さ 4,400 m の位置で掘削完了し、渤海油・ガス田でのガス生産試験で過去最高記録を実現した。

豪 Woodside 社は、2024 年 7 月 11 日、台湾中油股份有限公司 (CPC 社) と、台湾への LNG 長期供給のため、SPA (売買契約) を締結したことを発表した。Woodside 社は、2024 年 7 月開始で 10 年間、持ち届け条件で累計 600 万トンの LNG を供給する。Woodside は 2034 - 2043 年の 10 年間も、その期間の諸条件・合意次第で累計 840 万トンを引き渡す可能性もある。本件 SPA 下で引き渡すのは Woodside 社のグローバルポートフォリオからとなる。

Vitol 社は、2024 年 7 月 3 日、自社海運子会社 Vitol International Shipping Pte Ltd (VIS) を通じて LNG バンカリング船舶 (LNGBV) 3 隻を確保したことを発表した。Avenir LNG 社との定期傭船契約、中国 Nantong CIMC Sinopacific Offshore & Engineering 社 (南通中集太平洋海洋工程有限公司 = CIMC SOE) への 2 隻発注による。Avenir との定期傭船契約は、新造 20,000 m<sup>3</sup> LNGBV である。傭船契約は 2026 年第 4 四半期の造船所からの引き渡し時に開始し、7 年間、最大 10 年までのオプション付となる。Vitol は 12,500 m<sup>3</sup>、20,000 m<sup>3</sup> LNGBV 各 1 隻を CIMC SOE 造船所に発注した。2026 年第 4 四半期、2027 年第 3 四半期引き渡し予定である。

シンガポール Seatrium 社は、2024 年 7 月 5 日、141 隻船団を Maran Gas, Maran Tankers, Maran Dry 名で運航するギリシャ海運 Angelicoussis グループと、優先顧客契約 (FCC) を確保したことを発表した。1 年更新オプション付き 2 年契約で、LNG 船、タンカー、ばら積み貨物船からなる年間 10 - 15 隻の船舶の改装が含まれる。

2024 年 7 月 7 日、フィリピン First Gen 社によれば、同社は国産 Malampaya 天然ガス量が利用可能なことにより、同月予定していた 5 隻目の LNG カーゴ引き取りを一時的に延期した。First Gen 社は 6 月、TG Global Trading Co. (東京ガス) に、7 月 1 カーゴ、First Gen Singapore 社向け引き渡しの契約を発注していた。

Shell は、2024 年 7 月 12 日、SapuraOMV Upstream 社がオペレーションを担当するマレーシア Jerun ガス田で生産が開始されたことを発表した。この開発に関して FID (最終投資決定) は 2021 年になされた。同ガス田はサラワク州ビントウル北西 160 km・ミリ北西 190 km に位置する。統合型中央処理プラットフォーム 1 基で構成され、新規 80-km パイプラインにより E11RB 生産ハブへと輸送し、Malaysia LNG 含むビントウル周辺顧客に引き渡すこととなる。Jerun プラットフォームは、平常生産において、ガス日量 0.55 bcf、コンデンセート日量 15,000 バレルの生産で設計されている。Jerun には、SapuraOMV Upstream (40%) がオペレーションを担当、Sarawak Shell Berhad (30%)、PETRONAS Carigali Sdn Bhd (30%) が参加している。

豪州政府 (資源・北部準州相) は、2024 年 7 月 23 日、ガス供給に向けた新規沖合探査鉆区権許可を発行することを発表した。Esso 社・Beach Energy 社の Otway・Sorrell 地域に関して、発見されたガスは東部市場に向けること、Chevron 社、INPEX 社、Melbana 社、Woodside Energy 社分の西海岸の許可などである。さらに炭素回収・貯蔵開発に関して 10 件の許可が進められる。今回の発表によると、最新版の ACCC ガス市場暫定報告が、早ければ 2027 年より、東部市場にガス供給不足が発生する可能性を指摘している。新規ガス供給資源が開発されない限り、供給上の諸課題が 2030 年代半ばまで続く可能性が高い。

豪 Venice Energy 社は、2024 年 7 月 15 日、アデレード港湾での SALNG 受入基地プロジェクトに関して、出資参加者となる国際インフラストラクチャー企業 1 社から公式なオファーを受けたことを明らかにした。Venice Energy は、この取引締結後に FID (最終投資決定) を宣し、2024 年建設開始を期待している。2026 年末までにガス引き渡し可能となるよう設備建設・コミッショニングを完了する計画は維持していると述べた。

豪 Santos 社は、2024 年 7 月 18 日、2024 年第 2 四半期業績報告において、Moomba 第 1 段階 CCS プロジェクトは 92% 完成している、と述べた。同プロジェクトは、7 月 6 日に機械的に完成した。最終コミッショニング段階にある。

豪 Woodside Energy 社は、2024 年 7 月 23 日、同年第 2 四半期業績報告にて、G-8-AP 温室効果ガスアセスメント許可 (Woodside が Browse として保有) 域内 Calliance 貯蔵構造に関して、連邦政府により、2024 年 6 月、指定温室効果ガス貯蔵構造としての通知がなされたことを明らかにした。この通知は、Browse 設計における炭素回収・貯蔵のソリ

ューション案の織り込みを支えることとなる。

豪 Woodside Energy 社は、2024 年 7 月 23 日、同年第 2 四半期業績報告にて、同四半期中に統合 Scarborough エネルギープロジェクトのコスト・スケジュールのレビューが実施されたことを明らかにした。スケジュールに変更なく、2026 年に LNG カーゴ出荷目標である。修正後のコスト見通しは 125 億米ドル（自社分 82 億米ドル）と FID 時点の 120 億米ドルから 4%増となった。このコスト増加は、Pluto 第 1 系列改造の作業スコープがより詰められたことによるところが大きい。合計のプロジェクトコストには、Scarborough ガス田プロジェクト、Pluto 第 2 系列プロジェクト、Pluto 第 1 系列改造プロジェクトが含まれる。Scarborough エネルギープロジェクトは同四半期末時点で 67%完成となり、最初の LNG は 2026 年と見込まれる。Pluto 第 2 系列モジュールの 29 本が現場に搬入済みで、25 モジュールは同四半期末時点で設置済み、さらに現場作業は加速している。浮体生産設備 (FPU) ・上部構造の組み立ては進展した。居住区モジュールは上部構造上に設置され、構造的には完成している。幹線の設置は 36 インチ径から 32 インチ径へと移行し、50%以上完成している。開発井 2 本が掘削され、1 本は仕上げ済み、他方は 2024 年後半に仕上げを計画している。資源層の質は、掘削前の見通しに沿ったものである。フローライン 3 本の設置と試験は完了した。Pluto 第 1 系列改造の主要なエンジニアリングレビューは完了し、資器材の 80%が発注済みである。

豪州のエンジニアリング企業 Monadelphous 社は、2024 年 7 月 26 日、Woodside Burrup 社より建設契約を受注したことを発表した。本契約下で実施される作業は、西豪州カラサ近くの既存 Pluto LNG 第 1 系列設備・関連インフラストラクチャー改造の機械、電気、計測、コミッショニング作業となる。これにより、Scarborough Energy プロジェクトからのガスを、Pluto 第 1 系列の設備にて処理することが可能となる。

Wood 社は、2024 年 7 月 9 日、Shell 社の西豪州 Prelude FLNG (浮体 LNG 生産) 設備の既存設備 EPCm (エンジニアリング・調達・建設管理) ソリューション提供の 6 年契約を獲得したことを発表した。

Wood Group 社は、2024 年 7 月 2 日、Sunrise Joint Venture (SJV) の Greater Sunrise 開発への独立スタディの筆頭コンサルタントに選定されたことを発表した。2024 年第 4 四半期までに完了を目標とする同スタディは、同開発の次段階への進展を支援する。SJV は、TIMOR GAP (56.56%), Woodside Energy (33.44% ・オペレーター), 大阪ガス (10.00%) で構成される。同開発プロジェクトは、ティモールレステ、豪州ノーザンテリトリー間に位置し、Sunrise ・ Troubadour ガス・コンデンセート田で構成される。

豪 Woodside Energy 社は、2024 年 7 月 23 日、同年第 2 四半期業績報告にて、Sunrise 合弁事業参加企業は、新たな生産分与契約、鉱業規則、財務的枠組みに関して、豪州、ティモールレステ政府との検討を続けた、と述べた。

豪 Santos 社は、2024 年 7 月 18 日、2024 年第 2 四半期業績報告において、Barossa ガスプロジェクトは 77%完成している、と述べた。ガス搬出パイプライン敷設は完了した。6

井掘削プログラム中、3 本目が 5 月に開坑された。16 モジュール全て、FPSO 上に設置済みとなっている。 Darwin パイプライン複線化建設作業は開始されている。

## [北米]

米連邦議会上院 2 議員が、2024 年 7 月 22 日、エネルギー許可制度改革法案を示した。同法案は LNG 輸出許可申請について、環境審査後、エネルギー長官が許可ないし却下する 90 日間の期限を設定し、長官がこの期限に間に合わない場合、申請は承認とみなされるとしている。新スタディが完了しない限り DOE による既存の LNG 経済・排出に関するスタディに基づいて判断することを長官に義務付け、事実に基づく判断を確保するとしている。

米ルイジアナ州の連邦法廷判事が、2024 年 7 月 1 日、非自由貿易協定諸国 (非 FTA 諸国) 向け LNG 輸出承認の一時停止に反対して 16 の共和党州司法長官が提起した案件で、DOE (連邦エネルギー省) による LNG 輸出承認発行一時停止を終焉させる仮差止め命令を行った。原告諸州は、この輸出禁止は DOE による 2023 年 7 月の決定を完全に逆転したもので、説明も理由もなく、政治的に動機付けられたものだったと主張した。2023 年 7 月の決定、情報更新や承認手続きがどう扱われてきたかの過去の歴史、申請は迅速に処理すべきとの NGA の明文規定を鑑みれば、同法廷は被告側の承認手続き一時停止という決定に困惑している、と同判事は述べた。従って、同判事は、同法廷は原告の仮差止め命令の申し立てを認め、完全に即日、この LNG 輸出禁止を完全に停止するよう命じると述べた。

米インフラストラクチャー企業 WhiteWater 社は、2024 年 7 月 12 日、ADCC Pipeline パイプラインが同 1 日に本格稼働を開始し、Cheniere Corpus Christi Liquefaction 液化設備に向けて、テキサス州南部 Whistler Pipeline パイプラインの Agua Dulce 設備につながる市場より、日量 1.7 bcf の天然ガス輸送容量を持つこととなることを発表した。Agua Dulce での天然ガス引き取りにより、Cheniere はメキシコ湾岸での調達に加え、Permian 地域、Eagle Ford 地域の数量に直接のアクセスを確保できることとなる。ADCC Pipeline は Whistler Pipeline 社が 70%・Cheniere Energy 社子会社が 30%を保有する。Whistler Pipeline 社は、WhiteWater (50.6%), MPLX LP (30.4%), Enbridge (19.0%) による合弁事業である。

Sempra Infrastructure 社は、2024 年 7 月 18 日、Port Arthur LNG Phase 2 ・ Bechtel Energy 社が、テキサス州ポートアーサーでの Port Arthur LNG Phase 2 プロジェクトの一括請負 EPC (エンジニアリング・調達・建設) 契約を締結したことを発表した。契約範囲には、プロジェクトコスト・日程の確実性をよりよく確保するため、FID (最終投資決定) 準備業務を実施することも含まれる。Phase 2 プロジェクトは、2023 年 9 月、FERC (連邦エネルギー規制委員会) 承認を受けており、LNG 年間 1300 万トンを生産できる液化系列 2 本を含む見込み。Port Arthur LNG Phase 1 プロジェクトは建設中で、第 1 系列・第 2 系列、貯蔵タンク 2 基、関連設備で構成される。本格稼働開始日程は、それぞれ 2027 年、2028 年となっている。6 月、Sempra Infrastructure 社、Aramco 社の子会社は、LNG 年

間 500 万トンの購入、Port Arthur LNG Phase 2 プロジェクトにおける 25%出資を織り込む非拘束 HOA(基本合意)を締結した。2022 年 12 月、Port Arthur LNG Phase 2 ・ INEOS 社は、年間 200 万トンの引き取り容量に関して、非拘束合意に達した。

2024 年 7 月末、Freeport LNG は全 3 液化系列を再稼働した。同設備はハリケーン Beryl 上陸に先立って 7 月 7 日生産量を下げた。同ハリケーンの間空冷設備を損傷したが、同 22 日、同ハリケーン後の最初のカーゴを出荷した。

米 Golden Pass LNG プロジェクトの EPC(エンジニアリング・調達・建設)請負会社の 1 社である千代田化工建設株式会社は、2024 年 7 月 26 日、CB&I 社とともに建設完了を担当する、と述べた。米破産法判事による暫定承認を受け、Zachry Industrial 社は Golden Pass EPC 合弁事業体より離脱する。千代田化工建設、CB&I 社は、Zachry 社が受け持っていた部分の別々の部分を担当する、と千代田化工建設は述べた。両社は Golden Pass 側との EPC 契約改定を早期に目指す、としている。

Tellurian 社は、2024 年 7 月 1 日、既に発表していた上流部門資産の、Aethon Energy Management 社子会社への売却手続きが完了したことを発表した。Aethon Energy 社は、Tellurian と LNG 年間 200 万トンの長期 SPA(売買契約)検討を続けるとしている。

豪 Woodside Energy 社、米 Tellurian 社は、2024 年 7 月 22 日、Woodside 社が後者の Driftwood LNG プロジェクト含め、Tellurian 社の発行済み全株式を買い取る契約を締結したことを発表した。Woodside 社は Driftwood LNG および豪州での Pluto Train 2 プロジェクトの両方で EPC 請負会社となっている Bechtel 社との関係を強調した。

米 Tellurian 社が、2024 年 7 月 22 日、FERC(米連邦エネルギー規制委員会)に提出した 2024 年 6 月分建設状況報告によると、Driftwood プロジェクトは、同月、用地準備、掘削、埋め立て、防風雨水管理、杭打等の建設作業を継続した。同月 27 日、Driftwood LNG、Bechtel は LNTP(限定推進通知)3 を締結した。

米 Venture Global Plaquemines LNG 社は、2024 年 7 月 3 日付 FERC(米連邦エネルギー規制委員会)提出文書によると、ガスタービン発電設備へのガス導入許可を申請した。Plaquemines LNG は、以前の規制機関提出文書によると、早ければ 8 月にも LNG 生産開始する可能性はある。

Glenfarne Energy Transition 社子会社 Texas LNG Brownsville 社は、2024 年 7 月 2 日、未詳の相手方と、年間 50 万トンの LNG について FOB(本船渡し)SPA(売買契約)に向け非拘束 HOA(基本合意)を締結したことを発表した。Texas LNG は 2024 年建設開始、2028 年商業稼働開始を計画している。Glenfarne Energy Transition 社 LNG ポートフォリオには、ルイジアナ州レイクチャールズで開発中の年間 880 万トン Magnolia LNG 輸出節部計画も含まれている。

Texas LNG Brownsville 社は、2024 年 7 月 23 日、EQT 社との間で、LNG 年間 200 万トンについて、天然ガス液化業務 20 年間の加工契約を締結したことを発表した。この月、これより先に Texas LNG 社は、年間 50 万トンに関する契約も発表した。Texas LNG 社は、

2024 年建設開始、2028 年本格稼働開始を計画している。

Argent LNG 社は、2024 年 7 月 22 日、ルイジアナ州ポートフォションでの液化設備開発に向け GTT 陸上タンク技術を選定したことを発表した。

米 Eagle LNG Partners Jacksonville 社は、2024 年 7 月 29 日、ジャクソンヴィルでのプロジェクト建設完了期限を、2029 年 9 月 19 日まで延長することを FERC (連邦エネルギー規制委員会) に申請した。

SFL 社は、2024 年 7 月 3 日、16,800 TEU コンテナ船舶 5 隻、引き渡し日程は 2028 年、合計建造コストは 10 億米ドル程度で建造に合意した。これらの船舶は、LNG 複合燃料推進、燃料効率・カーゴ積み込み上の最適化の最新方式を織り込むこととなる。

Honeywell 社、Air Products 社は、2024 年 7 月 10 日、Honeywell 社が Air Products 社の LNG プロセス技術・機器ビジネスを買い取ることに合意したことを発表した。同発表によると、新しい包括的な提供サービスには、天然ガスの前処理と液化が含まれることとなる。Honeywell は現在前処理ソリューションを提供している。Air Products 社の LNG プロセス技術・機器ビジネスは、コイル巻式熱交換器 (CWHE) の自社設計・製造を含む包括的なポートフォリオからなっている。(CWHE)。

スペイン Enagás 社は、2024 年 7 月 10 日、米 Tallgrass Energy 社における 30.2%株式持分を Blackstone Infrastructure Partners に売却することで合意に達したことを発表した。

Fluor 社は、2024 年 7 月 8 日、カナダのブリティッシュコロンビア州キティマットの LNG Canada プロジェクトの第 1 生産系列の最終溶接完了を発表した。同プロジェクト初荷は 2025 年半ばまでに見込まれている。

GTT 社は、2024 年 7 月 15 日、同年第 2 四半期中に、船主となる Cedar LNG 社に代行する韓国サムスン重工業 (SHI) 社より、新規 FLNG (浮体 LNG 生産設備) タンク設計を受注したことを発表した。当該 FLNG は、タンク容量合計 180,000 m<sup>3</sup>、GTT 社が開発した Mark III Flex メンブレン搭載方式を備えることとなる。FLNG 引き渡しは 2028 年第 1 四半期を予定している。

カナダ TC Energy 社は、2024 年 7 月 30 日、NGTL System ・ Foothills Pipeline における 5.34%持分に関して、原住民所有の投資パートナーシップとの間での出資分株式売買契約を発表した。同契約は Alberta Indigenous Opportunities Corporation (AIOC) が支援しており、アルバータ州、ブリティッシュコロンビア州、サスカチュワン州原住民グループを代表するコンソーシアムが交渉した。

New Fortress Energy (NFE) 社は、2024 年 7 月 19 日、メキシコのアルタミラ沖、Fast LNG 設備より、LNG 生産開始を実現したことを発表した。NFE 固有の Fast LNG 設計は、モジュラー方式の液化技術とジャッキアップリグ等の沖合インフラストラクチャーを組み合わせる。同設備は年間 140 万トンの生産容量を持つ。

Chart Industries 社は、2024 年 7 月 22 日、自社 IPSMR® プロセス技術により、メキシコのアルタミラ沖 New Fortress Energy 社 Fast LNG 設備より LNG 生産開始が実現した

ことを発表した。Chart 社によると New Fortress Energy 社固有の Fast LNG 方式は新奇のもので、Chart 社のモジュラー液化技術とジャッキアップリグまたは同種の沖合インフラストラクチャーを組み合わせ、1 系列年間 140 万トンの生産容量を実現している。

## [中東]

株式会社国際協力銀行 (JBIC) は、2024 年 7 月 4 日、アラブ首長国連邦 (UAE) アブダビ首長国 Abu Dhabi National Oil Company (ADNOC) との間で、融資総額 30 億米ドル (うち JBIC 融資分 18 億米ドル) を限度とする地球環境保全業務 (通称「GREEN」) の下でのクレジットライン設定のための一般協定を締結したことを発表した。本クレジットラインは、ADNOC が UAE または第三国で実施する脱炭素・エネルギートランジション関連事業の実施に必要な資金を融資するためのものである。

アブダビ ADNOC Logistics and Services (ADNOC L&S) 社は、2024 年 7 月 1 日、韓国造船業 サムスン重工業、ハンファオーシャンに、新規 LNG 輸送船舶建造に関して、最大 25 億米ドル (92 億ディルハム) 発注したことを発表した。2 社は各々確定 4 隻、オプション 1 隻建造を受注した。2028 年から引き渡し見込みで、ADNOC 関係会社に 20 年間、定期傭船される。各隻容量 174,000 m<sup>3</sup>、MEGA・XDF2.2 エンジンを備える。輸送期間中の LNG カーゴ気化量を削減するためのカーゴ・コンディショニング・システム、カーゴ・ボイルオフガスをエンジンに振り向け燃料効率を向上し燃料消費を減らすシステム、リアルタイムの排出監視システム、メタン排出を削減する先端型カーゴ・コンテインメントシステム等の最新の持続性ある技術を備えることとなる。

アブダビ ADNOC、国際パートナー各社が、2024 年 7 月 10 日、後者による Ruwais LNG プロジェクトへの参加を発表した。bp, 三井物産, Shell, TotalEnergies は各 10% 出資を認められ、ADNOC は残り 60% 多数株を維持する。さらに ADNOC は、Shell 向け年間 100 万トン、三井物産向け年間 60 万トンの引き渡しなど国際パートナー向け数件の新規長期 LNG 販売コミットメントを締結し、コミット済みの Ruwais LNG 生産容量を 70% とした。

アブダビ ADNOC Gas 社は、2024 年 7 月 15 日、UAE (アラブ首長国連邦) ガス輸送網拡張 ESTIDAMA プロジェクトの EPC (エンジニアリング・調達・建設) 契約発注先決定を発表した。また ESTIDAMA 所有権は ADNOC Gas 社から ADNOC 社に移転される。ESTIDAMA は ADNOC Gas 社が操業を担当する UAE 天然ガスパイプライン網を 3,200 km から、3,500 km 超に拡張し、UAE 北部首長国内の顧客への天然ガス輸送量を増加することが可能となる。ADNOC Gas 社は ESTIDAMA の運営を継続し、ADNOC 社がこのインフラストラクチャープロジェクトの資本的支出を引き受けることとなる。

オマーンは、2024 年 7 月 27 日、既存のカルハット LNG 拠点における新規 LNG 液化設備 1 系列の計画を発表した。本件は Sur LNG 社名義となり、容量年間 380 万トンとなる。同プロジェクトは 2029 年までに完成予定としている。

クウェート Kuwait Oil Company (KOC) 社は、2024 年 7 月 14 日、自国経済水域内ファ

イラク島沖 Noukhada 油・ガス田に軽質原油・ガスを発見したことを発表した。発表によれば、初期的な試算として、軽質原油 21 億バレル、ガス 5.1 tscf (兆立方フィート) の合計原油換算 32 億バレル相当を有している。

Energean 社は、2024 年 7 月 23 日、イスラエル Katlan 開発プロジェクトの FID (最終投資決定) を行ったことを発表した。Katlan 地域は、既存 Energean Power FPSO への海底での接続方式で段階的に開発されることとなる。この開発により同 FPSO の生産が増加する。Energean 社による既存ガス販売契約、将来の国際市場向け販売の裏付けとなる。ガス生産開始は 2027 年前半で計画されている。海底部分の EPCI 契約は TechnipFMC 社に発注されている。

### [アフリカ]

エジプト EGAS (Egyptian Natural Gas Holding Company) 社は、2024 年 7 月 16 日、自国が Ain Sokhna、Aqaba 港湾を通じて、国際 LNG カーゴ契約済み 21 件中、既に 5 件を受け入れた、と述べた。

Eni 社は、2024 年 7 月 20 日、コンゴ Congo LNG プロジェクトが同年 2 月に LNG 輸出を開始した、と述べた。同プロジェクト第 2 段階が 2025 年末開始する時点で、同国ガス輸出は年間 4.5 bcm (45 億 m<sup>3</sup>) に増加する、とのこと。

TotalEnergies 社は、2024 年 7 月 25 日、同年第 2 四半期業績報告会議の席上、モザンビーク Mozambique LNG に関して、年末までに推進を再開できる、と述べた。同社は、プロジェクトの建設請負会社連合との間で「全ての事象を解決済み」として、請負会社との話し合いはコスト関連となっている、と述べた。同社は 2 月、既存のパートナーとの間で資金調達に関わる話し合いを再開しており、2024 年半ばまでに建設作業再開を目指している、と述べていた。

### [欧州・周辺地域]

スイスに本拠を置く MET Group 社は、2024 年 7 月 9 日、Shell と 10 年間の FOB (本船渡し) LNG 購入契約を締結したことを発表した。MET の主たる目的は、自社ガス火力発電設備需要から、エネルギー集約度の高い工業企業、中小企業から家庭用まで、欧州の需要向けに米国産 LNG を供給するところにある。MET はドイツ、クロアチア、スペインに長期気化容量予約がある。2023 年 MET 社は、欧州向けに LNG 30 カーゴ以上を引き渡した。

米 Crown LNG 社は、2024 年 7 月 25 日、英スコットランド東岸フォース湾グランジマウス浮体 LNG 輸入基地の設計・エンジニアリングパートナーとして、IKM Engineering & Environmental Consultants 社を選定したことを発表した。IKM 社業務担当は、プレ FEED、FEED (基本設計) 段階となる。

ドイツ Uniper 社は、2024 年 7 月 30 日、オランダのロッテルダム Gate 基地にてバイオメタンをバイオ LNG に転換するため、BioLNG 生産容量を利用する最初の企業となっ

たことを発表した。同社によると、 Gate 基地で生産されるこの BioLNG は、国際サステナビリティ・カーボン認証 (ISCC) 制度により認証される。原料は EU 加盟諸国の 1 つで生産されるバイオガスとなる。 Gate にて LNG 基地がバイオメタンを引き取り、同基地の既存インフラストラクチャーを用いて液化する。液化設備容量は年間 100,000 トンとなる。

ConocoPhillips 社は、2024 年 7 月 24 日、欧州、アジアに LNG を供給するための新規契約 2 本を発表した。 Fluxys のベルギー Zeebrugge 基地で 2027 年 4 月から LNG 年間 75 万トンを入力・気化する長期容量予約、同年からアジア市場に供給する長期 LNG SPA (売買契約) である。

ドイツ Deutsche ReGas 社は、2024 年 7 月 3 日、気化船舶 Neptune が、ムクラン工業港の 'Deutsche Ostsee' 基地に到着したことを発表した。今後数日間に第 2 気化船舶 Energos Power も Neptune 外側に停泊し同基地を完了する。同基地は天然ガス年間 13.5 bcm 気化容量を提供し、EUGAL/OPAL、NEL ガス輸送網に接続する。

スペイン Iberdrola 社は、2024 年 7 月 24 日、 Pavilion Energy Spain, S.A.U. (PESSA) 社が Iberdrola Energía España S.A.U. 社を相手取り、PESSA が天然ガスを Iberdrola 社向けに供給する両社間の 2019 年締結の契約に関して、仲裁手続きを 2024 年 4 月 19 日に開始した、と述べた。当該契約は価格見直し条項を含まないが、PESSA は外部環境激変により、スペイン最高裁の特別原則適用に該当するとして本件請求している。 Iberdrola 社はその原則が適用されず、両社間の契約に規定する合意事項を優先すべきと主張している。 PESSA はその請求にて、推定損失分として審理中の証拠調べ段階で確定する 2.334 - 5.349 億米ドルプラス利息分の賠償を Iberdrola 社に求めている。仲裁はマドリで進行中である。

イタリア Edison 社は、2024 年 7 月 30 日、トリエステ港で LNG 燃料充填を完了したことを発表した。アドリア海初の船舶間 (STS) LNG バンカリングで、 Ravenna LNG 内航拠点 (DIG) に供給を行って LNG 輸送船舶 Ravenna Knutsen を用いて実施された。 Ravenna Knutsen 小規模 LNG 輸送船舶は、 Edison 向けにノルウェー船主 Knutsen OAS Shipping により備船されている。

オーストリア気候保護省は、2024 年 7 月 9 日、ロシア Gazprom ・自国 OMV 間のガス供給契約を精査する委員会を設置する計画を明らかにした。2028 年から 2040 年へと 12 年間このガス供給契約を 2018 年に延長したことに、その政治環境も検証する、と同省は述べた。

## [南米]

Golar LNG 社は、2024 年 7 月 5 日、 Pan American Energy (PAE) 社と、アルゼンチンでの FLNG (浮体液化) 船舶 20 年間の配置に関わる契約を締結したことを発表した。同 FLNG プロジェクトは、 Neuquina 地域 Vaca Muerta シェール資源を開発する。同プロジェクトは、2027 年 LNG 輸出開始見込み。同事業は、 (i) PAE 社からのガス販売契約; (ii) Golar 社との、基本料金プラス LNG 販売価格に基づくコモディティ要素を含む FLNG 備船

契約を内容とするコマーシャル基盤に立脚する。同プロジェクトでは Golar 社の FLNG Hilli 公称容量年間 245 万トンを利用し、基本料金は 100 万 Btu 当たり 2.6 米ドル (利用容量 90%に基づく) プラスコモディティ価格要素とされる。Golar 社側に、別の Golar FLNG 設備を交換利用することを検討するフレキシビリティがある。契約の一環として、Golar 社は PAE との本件専用の合弁事業で国内天然ガス購入・操業・アルゼンチンからの LNG 販売・マーケティングを担当する Southern Energy 社の 10%株式を保有することとなる。本件は、複数船舶でのプロジェクトの第 1 段階とみなされており、今後同国内の他天然ガス生産企業も参加することが予想される。

アルゼンチン YPF 社、マレーシア Petronas 社は、2024 年 7 月 31 日、容量年間 3000 万トンの Argentine LNG 輸出プロジェクトに関して、リオネグロ地方 Sierra Grande 区域に立地することを決定したことを発表した。

Shell Trinidad and Tobago 社は、2024 年 7 月 9 日、トリニダード・トバゴ ECMA (東岸海洋地域) Manatee ガス田プロジェクトの FID (最終投資決定) を行ったことを発表した。ECMA には、ガス生産中の Dolphin, Starfish, Bounty, Endeavour ガス田が含まれている。Manatee ガス田は、Atlantic LNG 設備にバックフィル (追加原料ガス供給) をもたらすこととなる。同ガス田は 2027 年生産開始予定。ピーク生産量は、石油換算日量 104,000 バレル相当 (0.604 bscf/d (日量 6.04 億立方フィート)) に達する見込み。

お問い合わせ: [report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)